



NEWS

VOL.
176

2016・10月発行

平成28年7月24日(日)～8月1日(月)

3年 タイ交換留学



昨年、7月に鶴学園とカセサート大学(タイ・バンコク)が「教育・研究分野における相互交流に関する覚書」を締結したことに伴い、今年から本校とカセサート大学附属中学校・高等学校との交換留学が始まりました。記念すべき第一回目のフロントランナーとして、4名(女子3名、男子1名)が参加しました。

タイのバンコクは、他民族、多文化を積極的に受容する先駆的な国際都市として発展し続ける一方で、人々は自国の歴史、伝統、文化への高い誇りをもち、国家、仏教、国王を常に敬い、生活しています。独特の近代化を果たしているタイは、世界からも魅力ある国として注目されています。このたび訪問した国立カセサート大学附属中学校・高等学校(通称サティカセ)も、まさにタイの魅力を感じ、体験できる場所でした。

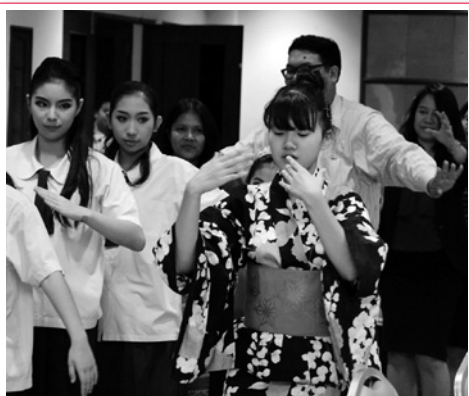
サティカセでは、まず空港内での歓迎式、歓迎式典、晩餐会、各HRでの歓迎会などが催され、大歓迎を受けました。各生徒に制服、体操服が用意さ

れ、サティカセの一員として受け入れられました。日本に興味関心を持つ生徒が多く、交換留学生達は楽しく交流できたようです。タイの文化、歴史に触れるアクティビティも目白押しで、カセサート大学の王室や仏教とのつながりを理解できる校内見学、タイの民族衣装体験、タイ料理作り、タイクラフト(花輪づくり)、伝統人形劇の鑑賞、世界遺産のアユタヤ観光、市場の見学などをさせていただきました。タイの方々の、異文化に興味関心を持ち、受け入れる懐の深さとともに、自文化に対する高き誇りを感じました。さらに、滞在中に一度スクールにもあい、その際のタイの方々の処し方から、風土、文化を感じることができました。そして、町中にあふれる日本車、日本企業、日本食、日本のお菓子やマンガに会うことで、世界とつながる日本を知ることができました。

最初は日本とも西洋とも異なる文化にとまどうこともありましたが、タイでの生活、交流を通して、友好が深まり、新たな視座を得ることができた交換留学となりました。



アユタヤで感じた、タイの文化と歴史の重み



盆踊りでサティカセの皆さんとの文化交流



ホストファミリーとの楽しい毎日、発見の毎日



タイの伝統衣装を着て、仲良くなったサティカセ生と

タイには、歴史の重みや日本とは違った文化がありました。例えば、国民は歴代王朝を尊敬していることや、タイの子どもの頭には神がいると信じられているために触ってはいけないということです。また、タイの人たちは、僕たちに対して優しく、気に掛けてくれました。僕はこの留学を通じて、だれにでも優しくなりたいと思いました。そして、タイの文化や歴史をみんなに伝えたいと思いました。 3年3組 新田 能章

今回、交換留学で初めてタイという国に行き、食文化や風習を肌で感じてきました。「文化を重んじるタイ人」、「微笑みの国タイ」と教わり、現地の方々と触れ合う中で私が想像していた以上のおもてなしを受け、常に心温まる時間を過ごすことができました。

滞在中、一番違いを感じたことは食文化です。最後までタイ料理の辛さやココナツの味にはどうしてもなじみませんでした。私たちと同じくらいの年の子まで香辛料のたくさん入った料理を普通に食べているのを見て、タイ人と日本人の味覚の違いを改めて感じることができました。同じアジアでもたくさんの違いがあり、とても有意義な交換留学となりました。 3年5組 中丸 恵里

CONTENTS

●3年タイ交換留学	1
●5年研修旅行/パラオ	2
●5年研修旅行/日本一周!?	2
●4年ニュージーランド語学研修	3
●2年ニュージーランド交換留学	3
●オツモエタイ高校留学生受け入れ	4
●国際基督教大学(ICU)との高大連携	4
●挑戦することにくわく	4
●1年夏遠足	5
●原爆手記朗読劇	5
●オープンスクール	5
●TOPICS	6
●第52回文化祭Information	6
●CLUB NEWS	6

5年研修旅行／パラオ

前半 平成28年7月23日(土)～29日(金) 後半 平成28年7月30日(土)～8月5日(金)

今年度は2グループ計29名がパラオ共和国を訪れました。パラオ共和国は、美しい海と珊瑚礁に囲まれ、人口がおよそ2万人の親日国として知られ、昨年度は天皇后両陛下のご訪問もあり、また環境問題に関するさまざまな取り組みを行っていることでも知られています。

初日には、太平洋戦争の激戦地として知られるペリリュー島を訪問し、慰霊と共に平和学習を行いました。その他、日本語を話せる現地のお年寄りの方々と一緒に

に折り紙をしたり、歌を歌ったり、花札をしたりもしました。パラオの小学生達とは、JICAの青年海外協力隊の方のご協力でソフトボール交流をしました。丸1日かけて美しい海を堪能した後は、パラオのゴミリサイクル処理場で、太平洋の小さな島が、どのようにゴミ問題を解決しているかを視察しました。多くのパラオで活躍する日本人、パラオ人との触れ合いを通して、過去の戦争と地球環境問題、国際交流の楽しさと大切さを学んだ7日間となりました。



1日に数時間だけ海の真ん中に現れる浜辺「ロングビーチ」にて



パラオの小学生達とソフトボール交流試合後にお互いに握手



今も残る戦跡、日本軍の戦車の前でお話を聞きながら

パラオに行って得た多くの学びの中で、僕が一番印象的だったのは、戦争についての学習です。第二次世界大戦当時の戦車や零戦、武器がそのまま残っているペリリュー島では、ガイドの人が、この場所で何が起こったかを一つ一つ説明してくださったので、実際にそこで戦争をしている情景がリアルに頭に浮かび、衝撃的でした。被爆地、広島に住んでいても出来得ない激戦地ならではの平和学習はとても貴重な経験、そして自分の中の知識が増えた有意義な体験でした。 5年3組 山口 雅志

私にとっては初めての海外旅行で出国の手続きさえも緊張しました。パラオといえば、美しい海や日本との深い歴史的な関係がありますが、私が一番感じたことは、パラオの人々の温かさです。パラオには、道路に信号がありません。日本にも所々に信号がなくて、なかなか横断することができない道路もありますが、パラオでは人が横断歩道で待っていると、車はいつもすぐに止まってくれます。道を歩いていると、車の中から手を振ってくれたり、気さくに話しかけてくれたり、何度も人の温かさを感じることができたのが、とても印象的でした。 5年4組 延味 蒔

5年研修旅行／日本一周!?

前半 平成28年7月22日(金)～28日(木) 後半 平成28年7月30日(土)～8月5日(金)

昨年度、新設された「日本一周!？」コースは、鉄道の在来線を利用した移動を中心に、北は北海道、南は鹿児島県まで、日本の各地を訪れます。食文化、歴史、言葉、気候などの日本の多様性について五感を通して感じ、理解を深めることを目的としています。5年生35名が参加し、前半行程と後半行程に分かれて実施しました。後半行程

では、雨雲の追跡を逃れるかのようでありましたが、前半・後半とも、天候には概ね恵まれ、順調に旅行を進めることができ、全員無事に帰還することができました。この旅行を通して生徒は、仲間との協力とは何か、自己管理とはどういうことなのか、という事について深く考え、実践することができ、学びの深い旅行となりました。



盛岡でわんこそば



青森ねぶたの前で



日本最北端、宗谷岬にて

日本一周旅行は、日本の各地にとどまりながら、北海道から鹿児島まで横断する旅でした。行きはすべて在来線しか使わないため、とてもゆっくりで乗り換えも多いので大変でしたが、いつもゆっくり見ることのない各地の車窓からの景色を見ることができました。特に広島との違いを感じたのは、当然ですが、北海道の最北端である稚内です。夏なのに、広島の冬と同じくらい寒く、日の出がとても早かったです。4時30分くらいにはもう明るく、皆仕事をしていて驚きました。日本一周は、自分が住んでいる日本の知らない事をたくさん知ることのできる貴重な体験でした。 5年1組 神田 智加

この研修旅行は、人生初の日本全国鉄道の旅でした。ほぼすべての行程を、飛行機や新幹線を使わず、在来線を利用するこの旅はとても長い時間を移動に費やすため、なかなか苦勞しました。日本は狭いと思っていた自分が今では信じられません。旅を通して、仲間と協力すること、自己管理能力の大切さを実感しました。そして何より、日本の文化や歴史の奥深さと繊細さに気づきました。 5年3組 山崎 智晴

4年ニュージーランド語学研修

平成28年7月26日(火)～8月13日(土)

4年生25名が19日間、ニュージーランド語学研修に参加しました。生徒は、日本とは異なった生活に最初は戸惑いを感じた様子でしたが、毎日現地の高校に通い、パディやホストファミリーと過ごす生活に慣れていくとともに、バスの乗り方や家族との過ごし方、授業の受け方などに、日本との「ちがい」を見つけ、日々楽しんでいました。また、生徒にとっては自分の英語力を試される19日間と

もなりました。今まで学校で学んだ英語が伝わったときの喜びを感じる一方で、英語でのコミュニケーションの難しさを実感し、自分の気持ちを伝えたくても上手に伝えられないというもどかしさも感じていました。現地で使われている表現などを実際に聞いて吸収した知識を生かし、また今回経験した喜びや悔しさをモチベーションにして更なる英語学習につなげて欲しいと思います。



パディと学校にて



ホストファミリーへの感謝の気持ちを込めて



英語を使った活動をする授業

私は、語学研修に行ったことで日本の伝統を知ってもらうことの楽しさを学びました。私のホストファミリーは、特に日本について興味をもってくれていたため、たくさん日本について質問してくれました。そこで、私が日本からもってきたけん玉や折り紙をして一緒に遊ぶと、とても喜んでくれました。他にも、日本食について話をしたり、一緒に日本食を食べたりすることで、ホストファミリーに日本について伝えることができました。日本の伝統を知ってもらうということがこんなにも楽しくて、魅力的なものだということを知ることができました。

4年1組 北川 玖依

肌で感じる文化の違いはとても興味深いもので、日本との違いを楽しむことができました。例えば、家での過ごし方、学校の授業の雰囲気など、国と国はやはり違うのだと改めて気づきました。滞在中は文化の違いを知るチャンスと考え、後悔しないためにニュージーランドのことをたくさん聞いてみました。今回の研修で自分の価値観やものの考え方など大きく変わった気がします。

4年4組 栗栖 直己

今回の語学研修の経験を通して、私は、国が違っているからこそコミュニケーションが増えていくのだと感じました。また、相手の国について知りたいと思ったことを自分が質問し、その質問に答えてもらうことによって、自分の知識となり、その国についてより興味をもつことができると思いました。国が違うことによって、自分の知りたいことを無限に見つけることができ、将来にも繋がるのだと学びました。

4年4組 三反畑 舞

2年ニュージーランド交換留学

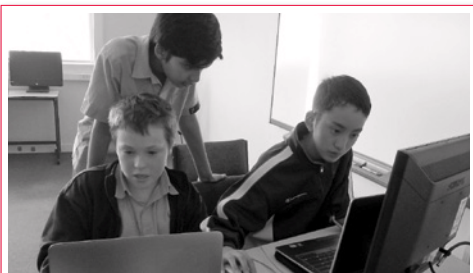
平成28年7月24日(日)～8月8日(月)

2年生12名が、ニュージーランドのパサデナ中学校へ交換留学をしました。5月に本校に来たパサデナ生たちと久しぶりに再会し、現地での生活をスムーズに始めることができました。パサデナ生たちは日本で受けたおもてなしをしっかりと返そうと、様々な場面でなぎさ生たちを助けてくれました。

学校では、ホストの生徒と一緒に授業を受け、生徒が学習したいことに取り組むアクティブラーニングを経験しました。なぎさ生は戸惑うこともありましたが、多くのパサ

デナ生と交流しながら楽しく学びました。また、マオリの生徒たちとの授業では、マオリのゲームを習い、そのお返しに、折り紙やじゃんけんを紹介して交流を深めました。

今回の交換留学にあたり、生徒それぞれが、英語を使うこと、文化を学ぶこと、積極的にコミュニケーションを取るなど目標を立て、多くの達成感を得ることができました。そして、次にパサデナ生に会う時にはもっと英語を話せるようになっていたい、という新たな目標もできました。



3Dプリンターを使う授業



デボンポートに向かう船上で



パサデナ生にジャンケンの仕方を教えている様子

勇気・文化・平和、この3つが僕のテーマでした。勇気を持ってホストファミリーに自分の必要としていることを伝えることができました。そして、マオリの文化をパサデナ生から学び、触れることができ、日本との考え方の違いに驚きの連続でした。また、パサデナ生と折り鶴を共に折ることで、平和について一緒に考えることができました。僕にとってこの2週間の貴重な体験は、一生の宝物になるにちがいないと思いました。

2年1組 奥田 麟太郎

私の交換留学の目的は、自分の気持ちを伝えること、英語力を深めることでした。私はエミリーの家族が話していることをできるだけ頭の中で日本語に訳して意味をわかっていました。そして、たくさんパサデナ生が私に話しかけてくれた時、答えられるように努力しました。単語でがんばって伝えようとする、理解しようとしてくれました。私はニュージーランドで目的を達成できたと思います。今回の経験を生かして今後の学校生活や自分の将来につなげていきたいです。

2年4組 久保 穂香

ニュージーランドのオツモエタイ高校からの留学生を受け入れました。約9日間という短い時間でしたが、本校ならではの授業をはじめ、国際部による本校生徒との交流会、ボランティアガイドによる平和公園・宮島での文化学習、また2年に一度行っている原爆手記朗読劇鑑賞など、多彩なプログラムを通して、お互いに学びの多い時間を過ごすことができました。留学生と関わる中で感じたこと、経験したことを糧として次の機会に繋げていってほしいと思います。



書道にも挑戦



国際部主催の交流会

国際基督教大学(ICU)との高大連携

ICUとの高大連携の一環として、本校にてICU学生との交流会が行われました。「大学」は高校生にとってはまさに未知の世界。自分たちとほんの一、二歳ほどしか変わらない大学生たちは、しっかりと自分の未来を見据えて日々学びを深めている立派な大人に見えました。大学生たちの生き生きとした姿に刺激を受けて、自分が大学生になったら何を学び、どのように行動し、未来を設計していくかを考える貴重な機会となりました。



大学生によるICUについてのプレゼンテーション



グループディスカッション

挑戦することにわくわく：夏休み外部団体主催プログラム

学校外にも優れた外部団体主催の教育プログラムがあります。なぎさ中高では創立50周年を機に「わくわく教育」を掲げていますが、その一環として、学校外で行われるさまざまな活動に参加することを奨励しています。夏休みに実施された教育プログラムに今年は総勢43名のみなさんが「挑戦」しました。その中からいくつかを紹介します。



【主な夏休み外部団体プログラム】

プログラム名	日程	主な活動場所
平成28年度 広島県青少年交流団 四川省派遣事業	8/8～13	中国四川省
ひろしま ジュニア国際フォーラム	8/21～24	広島国際会議場
青少年国際 平和未来会議2016	8/12～20	ロシア ボルゴグラード
2016広島市・大邱広域市 青少年交流事業	7/29～8/2	広島市 国際青年会館
無人島体験ツアー	8/25～27	岡山県釜島

上記の他に高校生医療体験セミナーをはじめさまざまなプログラムに参加しました。

青少年国際平和未来会議2016

この活動は世界の高校生が平和都市に集い、各国の平和活動などについて学び合うものです。今年はドイツ、ロシア、中国、タイ、フランスそして日本の高校生が参加しました。平和について語り合い、それぞれの国の戦争の歴史などについて学びました。国ごとに異なる平和活動を知り、また世界中に平和についてたくさん行動している人がいることを肌で感じることができました。

4年5組 東 てる

無人島体験ツアー

わずか2泊3日の無人島生活でしたが、今まで経験した宿泊学習の倍以上のことを学んだように思います。私たちは11名で生活しました。無人島では全員が協力し、役割分担して、いかに早く、効率よく、ミスを少なくするかが大事になります。1日3回の食事もおこしから食材の調達に至るまで全員で協力しなければなりません。それぞれの特技を生かして最善を尽くしました。このツアーを通して、協力するとはどういうことかを実感しました。

4年4組 石倉 寛治

平成28年度広島県青少年交流団四川省派遣事業

今回、中国四川省を訪問し、さまざまな人々と交流する機会をいただきました。現在、日本人の多くはメディアの影響もあり中国に対してあまり良くない印象を抱いていますが、現地の人々は皆、温かく歓迎してくれました。多くの日本人の先入観を解消するために、私は平和の象徴である「パンダ」を広島へ連れてくるアイデアを持っています。メディアからの情報に左右されることなく、パンダに関わる人々が交流することで平和は構築されると思うからです。今回の経験を通して微力ながら行動していこうと思います。

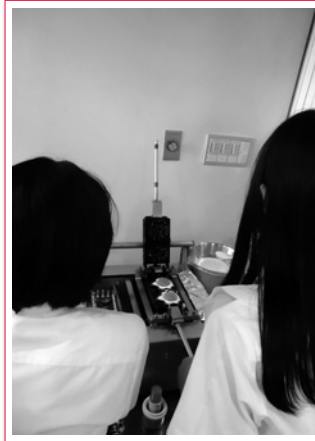
5年4組 小山 莉奈

1年夏遠足

平成28年7月26日(火) [1組・4組]、27日(水) [2組・5組]、28日(木) [3組・6組]

クラスごとに広島二つの世界遺産である厳島神社(宮島)と原爆ドームを海の道でつなぐ旅を行いました。どちらも今年世界遺産登録20周年という節目の年です。事前学習では、その歴史や登録に至る背景を学習しました。当日は本物を見ることで、より深く歴史と平和を学ぶことができました。

宮島では、鳥居を改めて下から見上げたり、歴史ある街並みを歩いたり、名産のもみじ饅頭を自分で焼く体験をしました。続いて、ひろしま世界遺産航路で本川を上っていくにつれ、心を落ち着けて川から原爆ドームを間近に見上げながら、71年前のことをそれぞれが考えたようでした。広島平和記念資料館では生々しい被爆証言を聞いて生徒たちは静かにメモをとっていました。広島人として、広島をどのように考え、発信していくかを考えた一日となりました。



もみじ饅頭の手焼き体験



平和公園で71年前に思いを馳せて黙とう

原爆手記朗読劇

平成28年7月9日(土)

広島工業大学デネブホールにて、原爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」が上演され、本校の2年生と3年生がオツモエタイ高校の生徒とICUの学生、保護者とともに鑑賞しました。出演されたのは演劇界を代表するベテラン女優、高田敏江さん、渡辺美佐子さん、日色ともゑさん、大橋芳枝さん、長内美那子さん、山口果林さんの6人。また2、3年生の本校生徒5名も事前オーディションを経て共演をしました。広島・長崎に投下された原子爆弾によって、親や子、きょうだいを亡くした悲しみや苦しみ、平和への強い祈りが朗読されました。感情を込めて読み上げられる朗読、音響や映像などは心に迫るものがあり、生徒たちは真剣に聴き入っていました。



女優の渡辺美佐子さんを囲んで



共演した本校生徒

女優さんの会場全体を包み込むような声に圧倒されました。朗読された本の中で知っている作品がありました。学校の休憩時間に読んだ時には、仁王立ちをして弟と最後の別れをする兄に対して「かわいそう」と感じ、「戦争はしてはいけない」と思いました。それを語り部が読むと、主人公の見ていであろう情景が目も閉じても見えてきました。そして「その子はそれからどのような道を一人で歩いていくのだろう」とその少年の人生も想像することができました。また、「この少年だけでなく戦争によって家族を失った人は世界中にたくさんいた。戦争に勝っても負けてもそれによって亡くなった人は帰ってこない。国と国とが支え合える社会が実現されてほしい」と思いました。

3年2組 古川 尚弥

台本を初めて読んだ時、原爆の悲惨さを感じました。そして練習で読む回数を重ねるごとに、手記を書いた人の伝えたい思いが身にしみてきました。当日、女優さんが稽古をしてくださったとき、私の隣の女優さんの声の大きさや感情が強くぶつかってきて、全身が寒くなりました。本番では、この女優さんのように原爆手記を伝えようと思い、一生懸命に読みました。

2年4組 堀内 彩美

オープンスクール「海の日はなぎさへ」～NAGISAわくわく体験～

平成28年7月18日(月)

7月18日(月)、海の日にオープンスクールが開催されました。朝から気温30度を超えるような猛暑の中、9時の受け付け開始時には正門付近に多数の小学生と保護者が来校されました。音楽部による華やかな演奏の中、オープンスクールがスタートしました。

教科の学び体験では各教科の教員が小学生でも楽しめるような授業を手作りで行っていました。理科の授業体験では、小学生だけでなく保護者も一緒になってモーターづくりを楽しんでいました。クラブ体験では運動部も文化部もボランティアで参加してくれた本校の生徒が主体となって、小学生にそれぞれのクラブの楽しさを教えていました。また、交流カフェでは小学生だけでなく保護者に対しても堂々と対応していました。他にも授業体験や受付などたくさんのボランティアの生徒のおかげもあり、オープンスクールは大盛況で終わることができました。

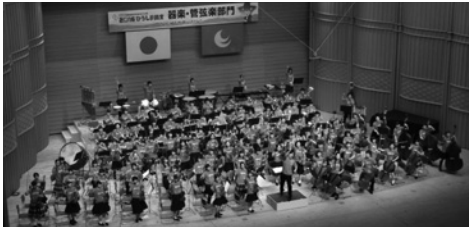


管弦楽部の演奏でお出迎え



受付では高校生が対応

第40回全国高等学校総合文化祭 2016ひろしま総文



◎ 管弦楽部

部門名：器楽・管弦楽部門
 日程：8月1日(月)・2日(火)
 会場：呉市文化ホール

私たち管弦楽部は県内6校110名のメンバーと共に、2016ひろしま総文に出場・運営をしました。満員となった客席の前に開催県代表として、私たちらしく熱い演奏をすることができたと思います。ご尽力いただいた先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。 6年2組 三浦 玲央奈



◎ 合唱部

部門名：合唱部門
 日程：8月3日(水)
 会場：さくらびあ

広島県合同合唱団として合唱部門に参加したことで、いろいろな学校の生徒達と限られた日数で練習をし、初演の曲を2曲も演奏しました。本当に大変でしたが、最後は苦労以上に達成感で心が埋め尽くされる貴重な経験をすることができました。 5年1組 見崎 麻梨菜



◎ バトン部

部門名：マーチングバンド・バントワリング部門
 日程：8月1日(月)
 会場：廿日市市スポーツセンター(サンチェリー)

今回、2016ひろしま総文に参加し、チーム一丸となって踊ることの大切さなど様々なことを学びました。また、広島が開催地ということもあり、多くの人がこの大会を支えてくださっているということ強く実感し、良い経験になりました。 5年4組 柳川 静花

第52回文化祭Information

今年の文化祭のテーマは、realize(実現する)とrise(日が昇る)を組み合わせでつくった『Re:AriZe』です。このテーマは5年4組の出木浦卓斗くんのアイデアで、「日はまた昇る、日をなごさ生全員の文化祭への意気込みとみて、その意気込みをもって文化祭を成功させたい」という想いが込められています。皆で力を合わせ、素晴らしい文化祭を作り上げましょう。

1日目

校内発表会

日時：平成28年11月11日(金)
 場所：本校体育館

2日目

一般公開

日時：平成28年11月13日(日)
 場所：本校校舎・体育館・グラウンド

CLUB NEWS

高校水泳部

●平成28年度広島県高等学校選手権水泳競技大会 競泳の部
 日程：平成28年7月2日(土)・3日(日)
 成績：女子400m個人メドレー
 小西 七海 (6-1) 第7位
 女子200m個人メドレー
 小西 七海 第6位
 男子100m平泳ぎ
 米田 晃成 (5-4) 第7位

高校硬式テニス部

●第56回中国高等学校テニス選手権大会
 日程：平成28年6月18日(土)～20日(月)
 成績：[団体戦]
 男子 ベスト 8
 女子 ベスト 16
 [個人戦]
 男子シングルス
 澤田 文弥(6-3) ベスト 4
 秋吉 大地(4-1) ベスト 16
 ●第69回広島県高等学校テニス新人大会広島地区予選
 日程：平成28年8月18日(木)・19日(金)
 成績：[個人戦]
 男子シングルス
 木村 颯太(5-1) 県大会出場
 村竹 裕貴(5-5) 県大会出場
 田部 智也(5-5) 県大会出場
 面真 保理仁(5-3) 県大会出場
 男子ダブルス
 秋吉 大地・村竹 裕貴ペア 県大会出場
 田部 智也・木村 颯太ペア 県大会出場

女子シングルス

本田 樹乃佳(5-4) 県大会出場
 藤村 野乃(5-1) 県大会出場
 橋本 幸音(5-1) 県大会出場
 西村 茉莉(4-1) 県大会出場
 女子ダブルス
 藤田 りさ(5-3)・西村 茉莉ペア 県大会出場

中学陸上部

●第43回広島県中学校陸上競技選手権大会
 兼 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会
 日程：平成28年7月16日(土)・17日(日)
 成績：共通男子400m 渡川 祐人(3-1) 第3位
 2年女子 山田 千尋(2-5) 第1位
 中国大会出場
 ●第64回広島市中学校総合体育大会 陸上競技の部
 日程：平成28年8月27日(土)・28日(日)
 成績：高学年男子走幅跳 坂元 友斗(3-1) 第5位
 津川 晃佑(3-4) 第2位
 高学年男子200m 渡川 祐人 第2位
 高学年男子4×100mリレー
 上本 英毅(2-3)・渡川 祐人・坂元 友斗・津川 晃佑 第5位
 高学年女子200m 山田 千尋 第4位

中学硬式テニス部

●第43回中学生テニス選手権大会中国予選大会
 日程：平成28年7月22日(金)～24日(日)
 成績：[団体戦]
 男子 第4位

[個人戦]

男子シングルス 後藤 溪太郎(3-2) ベスト8

囲碁将棋部

●文部科学大臣杯
 第12回小・中学校将棋団体戦広島県大会
 日程：平成28年6月19日(日)
 成績：準優勝
 Aチーム 長倉 凜太郎(3-5)、藤田 佳士(3-4)、浅田 一帆(1-4)

社会体育(中学水泳)

●広島県中学校選手権水泳競技大会 競泳の部
 日程：平成28年7月23日(土)・24日(日)
 成績：400m自由形 小西 咲良(3-5) 第2位
 800m自由形 小西 咲良 第2位
 400m自由形 柗井 萌(2-4) 第1位
 800m自由形 柗井 萌 第1位
 ●第50回中国中学校選手権水泳競技大会競泳の部
 日程：平成28年8月6日(土)・7日(日)
 成績：400m自由形 小西 咲良 第8位
 400m自由形 柗井 萌 第1位
 800m自由形 柗井 萌 第2位
 ●第65回広島県中学校総合体育大会水泳競技大会競泳の部
 日程：平成28年8月27日(土)・28日(日)
 成績：400m自由形 小西 咲良 第2位
 800m自由形 小西 咲良 第2位
 200m自由形 柗井 萌 第2位
 200m個人メドレー 柗井 萌 第4位